

小早祥一郎の そうじの力 No67 だより



活動報告

真下労務SO環境整備実習

「当り前」の「こと」をやる習慣づけ
「即行」を身につけるために

群馬県高崎市にある社会保険労務士事務所、真下労務サポートオフィスの環境整備推進をお手伝いしています。

同社は社員数も少なく、新築の事務所に移転して三年ほどなので、比較的きれいですが、ただ、仕事柄、書類がかさばるので、書類の整理整頓を中心に進めることにしました。

真下俊明社長が環境整備に取り組みようと思われた真意は、単に見た目をきれいにするためというよりも、環境整備を通じて社員さんたちに成長して欲しい、という願いが根底にあるとのこと。

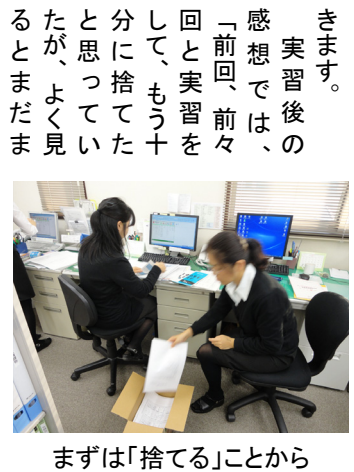
しやちほこばった座学よりも、実習型の環境整備教育の方が、得るところが多いと判断しました。

昨年十一月から取り組みを始め、まずは書類の整理を進めています。

一ヶ月に二回ほどお邪魔し、全員参加で二時間程度の実習を行います。

「整理」とは、要る物と要らないものを分けて、要らないものを処分すること。私はこれを、「捨てる、減らす」と表現しています。

世の中には、なかなかモノを捨てられない人が多いのです。モノを「使えるか、使えないか」で判断すると、ほとんどのものは機能的には使えるため、捨てられません。「使うか、使わないか」で判断すると、多くのものを捨てること



まずは「捨てる」ことから

きます。

実習後の感想では、

「前回、前回と実習をして、もう十分に捨てたと思っ

たが、よく見るとまだまだ捨ててあるものと気づいた」「後でやろうと思っ

て取っ

ておくと、結局積みあがってしま

うので、全員でやると整理が進む」「全員で知恵を出しながらやるので、仕事がしやすくなる」などが出ました。

真下社長は、「要らないものを捨てる、要る物を捨てる、というの

は当たり前、というの

は当たり前、というの

は当たり前、というの

は当たり前、というの

おそうじ先進企業訪問

株式会社トラス

「風土として根付かせる」

「何よりも社長の想いが大切」

横浜市に本拠を置き、神奈川県下に四店舗の調剤薬局を展開する㈱トラス様を訪問させていただきました。

同社は、金子貴一社長が製薬会社勤務から独立して創業したもので、十年目を迎えます。

同社は九時始業なのですが、私たちが訪れた八時には、既に社員さんたちはそうじを始めていました。



道路をそうじする社員さんたち

同社の目の前の道路を、おおよそ百メートルにわたって二人ペアになって掃き清めていきます。そうじしながら社員さんたちは、道を通行する人たちに大きな声で丁寧

に「おはようございます！」と挨拶しています。

同社の向かいに大きな病院があるので、出勤してくる医師たちにも大きな声で挨拶をしています。

こうしてそうじや挨拶をすることで、当然ながら地域住民や病院の医師たちに良い感情が生まれ、地域から愛されるようになり

ます。実際、同社のすぐ隣に他社の薬局があるのですが、処方箋の扱いは、同社の一人勝ちという状況だそう

です。自主的なものだ、ということ

です。自主的なものだ、ということ

です。自主的なものだ、ということ

です。自主的なものだ、ということ

です。自主的なものだ、ということ

です。自主的なものだ、ということ

です。自主的なものだ、ということ

です。自主的なものだ、ということ

です。自主的なものだ、ということ

です。自主的なものだ、ということ

です。自主的なものだ、ということ

です。自主的なものだ、ということ

このニュースレターは、今までにお世話になった方々に送付しています。今後送付をご希望されない場合には、大変お手数ですが、巻末連絡先までご連絡ください。

連載

企業再建の現場から

親族以外が経営を引き継ぐには

〈営業会社設立という選択〉

日本のほとんどの中小企業は、親族経営です。多くの場合、息子さんが父親の後を継いで代表取締役になります。

「自分の親族に継がせたい」という創業者の気持ちもあるのですが、それ以上にそうさせている原因が、金融債務の連帯保証制度です。

借入をする際には、代表取締役が連帯保証人として実印を押します。代表者が変わった場合には、新しい代表者が実印を押し直さなければなりません。

もし親族内に継ぐべき男子がおらず、プロパー社員に適任者がいたとしても、血のつながりのない他人が連帯保証のハンコをつくるのは躊躇するものです。

こうした問題を解決する方法に、「営業会社設立」という手法があります。

現在の会社の体制はそのままにして、新たに同社の営業を引き継ぐ会社を設立し、プロパー社員が新会社の代表取締役就任します。新会社は、元会社から事務所や工場、店舗といった不動産を借りて元会社のすべての事業を引き継ぎ、家賃を元会社に支払います。

当然、顧客や取引先には事情を説明しますが、外部から見れば、実態は今までと何ら変わりありません。

後継者であるプロパー社員にすれば、連帯保証というリスクを回避して、経営を引き継ぐことができます。

元会社の社長にとっては、育てた事業を後継者不在でこの世からなくすことを避けることができます。

不動産は、新会社の経営が順調ならば、少しずつ買い取っていいのです。

ミニコラム

志を持った若者が育つことに期待

〈中学生への講演を終えて〉

高崎市の中学校で、就業体験週間の事前学習という位置づけで依頼を受け、中学一年生に講演をしました。

テーマは、「働くってどういうこと?」 自身の体験である、日産自動車への就職、独立、そして「株式会社そうじの力」の設立などのエピソードを通じて、私の職業観をお話しさせて頂きました。

まず私から生徒に、「働くって、どういうことだと思う?」と質問してみました。「給料をもらうこと」「金を儲けること」「よく分からない」などの意見が出る中で、一人の生徒が、「人の役に立つこと」と答えたのです。

これこそが私の用意していた答えだったのですが、まさかズバリ出るとは思わなかったのが、ビックリしました。

私自身、中学生の頃には「働くとは役に立つことだ」などと思つたこともありませんでした。少数かも知れませんが、将来、志をもつた青年に成長してくれる子供たちがいるかも知れません。

後日送られてきた感想文には、「働くこととは金を儲けることだと思つていたので、『役に立つことだ』と聞いてビックリしました」「働くことについての考えが変わりました」「働くことについての考えが、『独立した小早さんは大変だと思つたけど、だつていつもお金の心配をしなくてはいけなのだから』と書いてあるのもあり、苦笑してしまいました。

また、良い感想文は女子のものが多く、この年代、男子はまだまだ幼いのでしょうか。今後の成長に期待します。

お知らせ

◆経営計画作成合宿 in 草津

「志ある経営」を目指す仲間と共に、個人あるいは自社の経営計画をじっくりと練る合宿です。

計画作りそのものは各人の個別作業になりますが、折々に内容を発表し合い、互いに感想やアドバイスを述べ合うことで、より内容を充実させます。夜には懇親会もあります。

対象者：経営者、後継者、起業志望者
日時：二月七日(月)十三時現地集合
二月九日(水)十三時現地解散
場所：草津温泉 中沢ヴィレッジ
参加費：宿泊費および食事代等の実費

◆創業道場(原則毎月開催)
対象者：経営者、後継者、起業志望者
日程：三月二日(水)、五月十一日(水)、六月一日(水)、七月六日(水)、九月七日(水)、十月五日(水)、十一月二日(水)、十二月七日(水)
内容：六時～七時半
環境整備実習(北三公園他)
七時半～九時 朝食会
九時～十時 良書輪読会
十時～十二時 経営計画書に基づく実践発表と意見交換
(高崎市産業創造館)

◆経営計画コンベンション(発表会)
志ある経営を目指す仲間同士による、経営計画の合同発表会です。
日時：四月六日(水)九時～十二時
場所：高崎市産業創造館

◆北三公園トイレついで
日時：二月一日(火)六時～七時

株式会社そうじの力

・そうじを通じた経営改革・人材育成支援
(コンサルティング、研修)

・企業再建・事業継承・後継者育成支援
(専門家チームアプローチ)

当社は、志(理念)を持った人と企業を応援するため、諸々の支援活動を行っております。

編集後記

◆テレビの見過ぎ!

ある日の夜、妻がテレビを観ていて、脇にいた五歳の娘が妻に聞きました。
娘「これは何の女?」

「何の女」とは、二時間サスペンスドラマにありがちな「京都地検の女」「科捜研の女」などのタイトルのことです。

妻は二時間サスペンスドラマが大好きで、そのときに観ていたのも、まさに火曜サスペンス劇場でした。
妻「いえ、これは『女』ではなくて、『法医学教室ファイル』なのよ」
娘「ふーん。『女』じゃないんだ。でも『女』と同じ人が出てくるよね」
私「君たち、病気だよ…」

そうじの力だより 第67号

2011年2月発行

発行者:小早 祥一郎

(株)そうじの力 代表取締役

連絡先:〒370-0078

群馬県高崎市上小鳥町 373-6

TEL&FAX:027-315-2334

携帯電話:090-3906-3906

メール:kohaya@gmail.com